



2017年ものがたり観光行動学会第7回年次大会

遊ぶように学び / 学ぶように遊ぶ

遊学につぼんシンポジウム

# 水辺の 観光

11/18 **土** 会場  
滋賀県立琵琶湖博物館  
遊学につぼんシンポジウム  
繋がらないつながりを求めて・びわ湖ミッション

参加申し込み方法

先着  
80名様  
参加無料

一般参加について

【参加費無料ですが下記厳守の上でお申し込みください】

- 往復はがきに返信先住所を記入し(記入無し→無効)、「ものがたり観光行動学会・遊学につぼんシンポジウム参加希望」と明記し、お申し込みください。
- 応募締め切り10/18(火)消印有効。10/23(月)に「参加証」を返送します。但し、2名ともの氏名記入が必要です。(記入なき場合無効)。当日は「関西文化の日」のため、会場の滋賀県立琵琶湖博物館の常設展示観覧料は無料です。
- 応募先住所 / 〒540-0037 大阪市中央区内平野町1丁目1-13 百伊ビル5F  
ものがたり観光行動学会(成瀬公認会計士事務所・気付)

注:1枚のはがきで  
2名まで入場可。

# 2017年ものがたり観光行動学会第7回年次大会 遊ぶように学び／学ぶように遊ぶ

遊学につぼん  
シンポジウム  
プログラム

世の観光熱はひととき急上昇  
小さな集落やなんでもない町がいきなりインスタで盛り上がり、発熱の観光地に  
突然人が来て、意味不明の賑わいを見せ、さっと人が引く  
そんな観光熱が、そこかしこの世の中に  
場所や地域がまるで消費財のよう……  
この現象、瞬間芸のようでもあります

でも、これ、長続きする？

たしかに、人口減少の衰退に瞬間芸も必要か、でも  
場所や地域は公共財！消費財とは違うはず

継承されてきた落語噺に安心感を求める、そんな時代でもあるんです  
じんわりホッコリ、公共財みたいな息の長い観光……  
「遊ぶように学び／学ぶように遊ぶ」

そこで、そんな安心感のある観光を「遊学につぼん」と呼ぶことにしました

遊学につぼんには、場所と生活が一對の環境を惹きつける気概にも似た文化が必須です  
文化に寄り添える「舞台」も欠かせません  
舞台とは市井に寄り添うことをいとわない闊達な博物館のイメージです  
それらが混然一体となっている地域

この遊学につぼんアイデンティティーを考えると、俄然びわ湖が輝きます  
いまだ、観光に媚びを売らない地域と  
地域に寄り添う博物館があるからです

そこで、ものがたり観光行動学会では  
遊学につぼんアイデンティティーについて  
滋賀県立琵琶湖博物館で考えてみることにしました

繋がらないつながりを求めて——  
遊学につぼんびわ湖ミッション 水辺の観光

12:10 主催者挨拶(5分) 【大会の狙い】 白幡洋三郎 ものがたり観光行動学会会長

12:15 開会挨拶(10分) 三日月大造 滋賀県知事

12:25 基調講演(50分)  
【遊学の舞台・びわ湖フィールド】 嘉田由紀子 びわこ成蹊スポーツ大学学長

休憩 5分

13:20 研究発表 【1名持ち時間・発表+質疑=25分・全5名】  
ナビゲーター 加藤 晃規 ものがたり観光行動学会 副会長

休憩 10分

15:25 セッション(100分)  
【遊学につぼんびわ湖ミッション 水辺の観光】  
パネリスト 芝田 冬樹 叶匠寿庵 代表取締役社長  
廣脇 正機 びわこビジターズビューロー 専務理事  
篠原 徹 滋賀県立琵琶湖博物館 館長(本学会 会員)  
佐藤友美子 追手門学院大学教授/JR西日本取締役(本学会理事)  
コーディネーター 高田 公理 ものがたり観光行動学会副会長

17:05 主催者から閉会の辞(5分) 大黒伊勢夫 ものがたり観光行動学会理事/西日本鉄道(株)取締役

17:10 終了

## 遊学エクスカッション／ものがたり観光行動学会・会員限定

遊学につぼんの実証実験的エクスカッション。博物館前から浮御堂の灯りを頼りに  
小さな船旅・ニッポンの風雅、浮御堂へ！堅田の湖畔、魚清楼にて交流会です。

17:25 琵琶湖博物館前の港発 → 17:55 堅田港着  
18:00過ぎより港近くの会場でアフターミーティング  
20:00過ぎ終了

船便  
チャーター共  
8,000円  
(予定)

注)当日、午前11時より琵琶湖博物館にて、  
ものがたり観光行動学会第8回総会を開催します。(開催通知・別表参照)

主催：ものがたり観光行動学会 共催：滋賀県立琵琶湖博物館  
協賛：レークウエスト観光(株)  
後援：滋賀県／堅田観光協会／魚清楼／白汀苑／(公社)びわこビジターズビューロー